

金曜日の夜は…市民大学リレー講座

# 今さら聞けない! SDGsって何?

第1回

9/25 金

## SDGs的に考え、SDGs的に世界をみる



静岡県立大学  
国際関係学部  
湖中 真哉 教授

SDGsのもととなった基本的な考え方について解説します。SDGsは、開発についての3つの考え方の流れがひとつに合流して形成されました。SDGsを単なる達成目標としてみるのではなく、世界の叡智が結集してつくりあげたSDGsのもととなった考え方に目を向けてみると、わたしたちの視野をひろげ、わたしたちが日々生きる世界をSDGs的にみることが可能になると思います。



第2回

10/16 金

## 建築のリノベーションとSDGs



常葉大学  
造形学部  
土屋 和男 教授

建築分野からSDGsに貢献できることはいろいろありますが、そのひとつに既にある建築物を長く使い続けることがあります。近年ではリノベーションという言葉も一般的になりました。ここで大切なのは、時間の経過したものに価値を見出し、それを楽しむ価値観です。建築史の立場から、様々な事例を通して、SDGsのあり方を考えます。



第3回

10/30 金

## “水面下の生命”のために “水面上の生命”を守るとは何か?



東海大学  
海洋学部  
李 銀姫 准教授

「SDG14海の豊かさを守ろう(英:SDG14 Life Below Water・水面下の生命)」を実現するために、駿河湾を持つ静岡県や島国である日本はもちろん、世界中においては今、沿岸漁業・漁村が持つ機能への関心が高まっています。こうした中、「水面下の生命」を守るには、「水面上の生命(Life Above Water)」を守ることが重要であることを理解し、真のSDG14の実現のために重要な視点と日本が果たすべき役割について考えます。



第4回

11/13 金

## 今日のコミュニティ形成と人間関係の特徴 —SDG11「住み続けられるまちづくり」にむけて—



静岡英和学院大学  
人間社会学部  
志田 倫子 教授

住み続けられるまち、住みたくなるまちには、どのような人間関係が形成されているのでしょうか。行政の企画するコミュニティ・カレッジを卒業した市民が、ゆるやかなつながりを持つ宇津ノ谷地区で、地域住民と協力して取り組む「ふるさとづくり」の事例をもとに考察していきます。今日のまちづくりのひとつである伴走型支援を理解しながら、機能性ととも人間性をも求められるコミュニティ形成の過程を分析していきます。



第5回

11/27 金

## 2030年にどのような社会と暮らしを望むのか? —SDGsが問いかけるもの



静岡大学  
農学部/  
未来社会デザイン機構  
竹之内 裕文 教授

2030年に思いをはせてください。あなたはどのような社会と暮らしを望みますか?この問いのもと、本講座ではみなさんとの「対話」に挑戦します。SDGsは私たちになにを問いかけているのか、これを手短かに確認したら、さっそく対話に入りましょう。2030年の具体的な到達目標とそれを支えるビジョンについて、多様な意見を関連づけ、主体的に考えてみましょう。



時間 18時30分～20時00分(全5回)

静岡市生涯学習推進課 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 TEL.054-221-1207 FAX.054-221-1758